

# 2017 FUJICCO REPORT

事業・社会・環境・ガバナンス統合報告  
[2017年3月期]



# 食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして

®



経営理念

創業からの業績推移

フジッコグループの価値創造

トップメッセージ

事業の概況

事業の概況

消費者志向自主宣言

## フジッコの心

— 共生と感謝の喜びを込めて —

社 是

# 創造 - 路

ひと すじ

Always Be Creative

私たちの合言葉

## 「すこやかフジッコ」



「和食給食応援団」豆の出前授業

## フジッコレポート 2017 Contents

01	経営理念
03	創業からの業績推移
05	フジッコグループの価値創造
07	トップメッセージ
09	事業の概況
13	消費者志向自主宣言
15	安心・安全のために
17	人財
19	環境への配慮
21	社会との関わり
23	株主・投資家の皆様とともに
25	コーポレート・ガバナンス
27	取締役・執行役員
29	企業価値向上の成果

### 発行にあたって

2003年からフジッコグループでは「社会・環境報告書(環境報告書)」を発行してきました。2016年より、財務諸表だけでは見えないフジッコグループの長期的な価値創造をご理解いただきたいという想いで、財務・非財務情報をまとめた冊子にリニューアルし、「フジッコレポート」と名称を改めました。ぜひ、最後までご覧いただき、フジッコグループの活動について理解を深めていただければ幸いです。

### 将来見通しに関する注意事項

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

#### 【三つのお約束】

- 一、私たちは、安心の品質と価値を誠実に提供します。
- 一、私たちは、自然の恵みの尊さを誠実に演出します。
- 一、私たちは、本当のおいしい味を誠実に追求します。

#### 【三つのアタック】

- 一、技術向上、基礎力の習得に努めます。
- 一、挑戦意欲、高いレベルを目指します。
- 一、迅速正確、進んで物事にあたります。

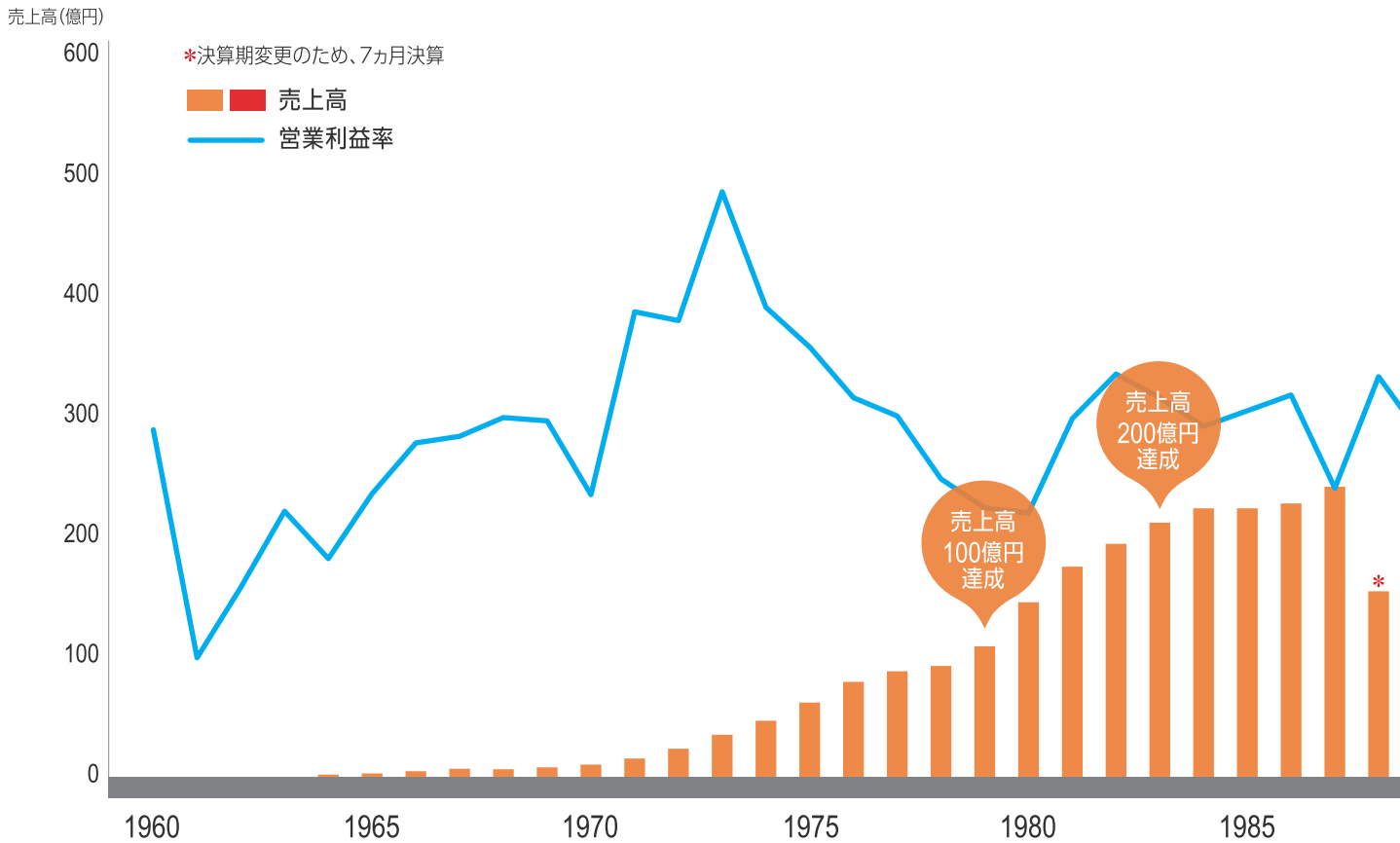
#### 【七つの実行】

- 一、全社目標と部門目標の一致を常に心がけます。
- 一、部門目標と個人目標の一致を常に心がけます。
- 一、報告・連絡・相談を徹底します。
- 一、相互の協力と連携を徹底します。
- 一、正確な処理と確認を徹底します。
- 一、社内・社外の情報を正確に把握し、積極的に行動します。
- 一、世界の環境と資源の問題に注目し、積極的に行動します。

# 創業からの業績推移

1960年に「富士昆布」として創業以来、「健康」と「美味しさ」そして「安心・安全」を追求した製品を一貫して世に生み出し続けてきました。

昆布や豆といった日本の伝統食だけでなく、私たちは世界の健康食も取り入れながら、自由な発想で「新・日本型食生活」の実現を目指して取り組んでまいります。



## 製品の歴史

1960 1966 1970 1971 1976 1987 1989 1993

「ふじっ子」発売  
脱サッカリンの「純とろ」発売  
佃煮の革命児「ふじっ子煮」開発成功  
「つけもの百選」発売  
日配惣菜の本格生産開始

1960 1976 1987 1989 1993

とろろ昆布が店頭での量り売りが一般的だった中、全国規模での個包装による販売を開始  
合成保存料、合成着色料、漂白剤不使用の「おまめさん」発売  
「しば漬食べたい」で大ブーム  
ナタデココの自社生産を開始

とろろ昆布切削機(1960年頃)

おまめさん TVCM(1978年末頃)

日本経済新聞(1993年7月28日)

経営理念

創業からの業績推移

フジッコグループの価値創造

トップメッセージ

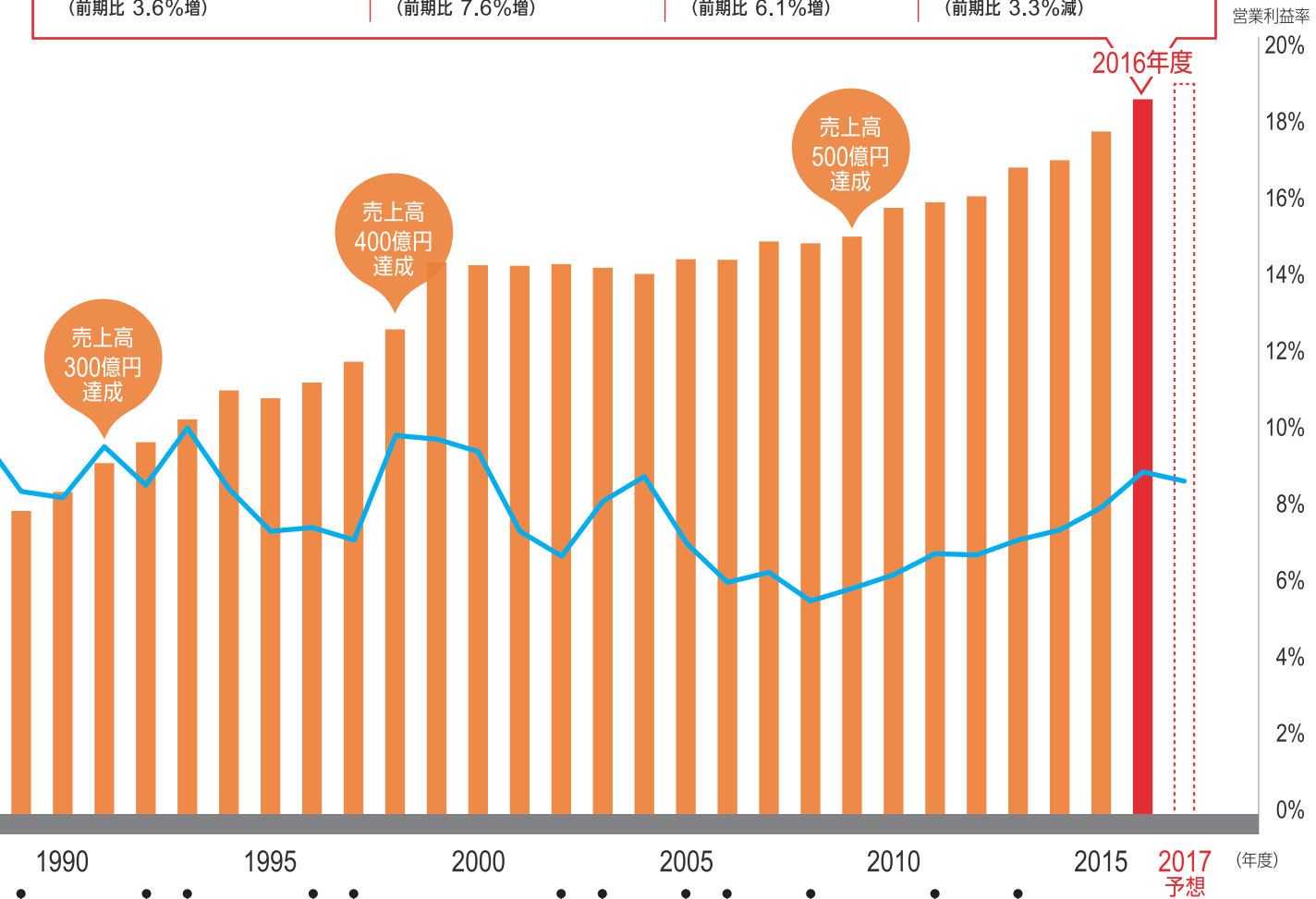
事業の概況

事業の概況

消費者志向自主宣言

2016年度 (2016年4月1日～2017年3月31日) の連結業績

売上高 <b>608億60</b> 百万円 (前期比 3.6%増)	営業利益 <b>53億52</b> 百万円 (前期比 7.6%増)	経常利益 <b>57億3</b> 百万円 (前期比 6.1%増)	親会社株主に帰属する当期純利益 <b>37億91</b> 百万円 (前期比 3.3%減)
-----------------------------------------	-----------------------------------------	----------------------------------------	----------------------------------------------------



1992  
フジクレール  
ワイン販売開始

1996  
通信販売  
事業開始

1997  
買い置きできる野菜  
中心の健康おかずと  
して包装惣菜「おかず  
畑」をシリーズ化



2002  
「カスピ海ヨーグルト」  
種菌生産開始  
ジョージアでの研究



2003  
ナタデココ入りのチルドゼリー  
「フルーツセラピー」発売

2011  
「朝のたべるスープ」  
発売



2008  
味や見た目は常食そのままの  
介護食「ソフトデリ」発売



2006  
食べきりタイプの煮豆「やわふく」  
(現・「豆小鉢」) 発売

2005  
「カスピ海ヨーグルトプレーン400g」  
発売



2013  
「ベスタデリ」発売



営業利益率  
20%  
18%  
16%  
14%  
12%  
10%  
8%  
6%  
4%  
2%  
0%

安心・安全のために

人財

環境への配慮

社会との関わり

株主・投資家の皆様

コーポレート・ガバナンス

取締役・執行役員

企業価値向上の成果

# フジッコグループの価値創造

美味しさ、健康、安心・安全。  
本業を通じてこれら3つの価値を  
お客様へお届けすることが、  
私たちフジッコグループが  
最も大切にしている価値創造です。

フジッコ  
グループの  
強み

1

## 一貫した 「美味しさ&健康」の追究と 自由な発想による商品開発力

私たちフジッコグループは、  
健康長寿の切り口から、東洋の  
「おかず」と西洋の「ヨーグルト」を  
製品として持ち合わせる  
数少ない食品メーカーです。



フジッコ  
グループの  
強み

2

## 長く愛される 商品の開発

10年以上  
続いている  
製品数\*

(2017年4月1日時点)

\*当社商品カタログに掲載の品目のみ

**95** / **157**  
製品 / 製品中



1966年  
「ふじっ子」

1976年  
「おまめさん」

### 〈 解決すべき社会の課題 〉

健康長寿社会の実現

食の安心・安全の確保

社会の変化による食生活の乱れ

和食文化の継承

### 》》 価値創造 6つの源泉

財務資本

健全な財務基盤と  
安定性

生産体制

安心・安全な  
ものづくり

知的財産

研究により培ってきた  
技術ノウハウ

フジッコ  
グループの  
強み

4

## 食を通じた お客様との コミュニケーション



フジッコ  
ヨーグルトフォーラム  
のべ参加者数  
(2004年4月～2017年3月)

**34,720名**

フジッコ  
グループの  
強み

3

## 佃煮・煮豆の トップランナー

トップシェア (2016年4月1日～  
2017年3月31日)

昆布佃煮 **47.8%** 

煮豆 **42.7%** 

※インテージ「SCILレポート」より

健康

美味しさ

安心・安全

組織風土

従業員に根付く  
「フジッコの心」

ステークホルダー

皆様との  
良好な関係

自然からいただく資源

安心・安全な  
原材料

安心・安全のために

人財

環境への配慮

社会との関わり

株主・投資家の皆様

コーポレート・ガバナンス

取締役・執行役員

企業価値向上の成果



## お客様 第一主義を 実行します。

フジッコ株式会社  
代表取締役社長

福井 ふー

### 2016年度の業績について

フジッコグループは、当連結会計年度を初年度とする中期3か年経営計画がスタートし、“選択と集中”によるさらなる高成長・高収益性の事業形成を目指すとともに、企業価値の最大化を実現するための経営基盤の強化に取り組みました。また、2017年1月16日に消費者庁が推進する消費者志向経営の実現に向けた考え方や取り組み方針を表明する「消費者志向自主宣言」を公表しました。

売上高は、昆布製品が前年実績をわずかに下回りましたが、ヨーグルト製品、惣菜製品、デザート製品、豆製品が前年実績を上回ったことから、608億60百万円（前期比3.6%増）となりました。

また、利益面では、売上高の増加とともに売上原価の低減が引き続き進んだことから、営業利益は53億52

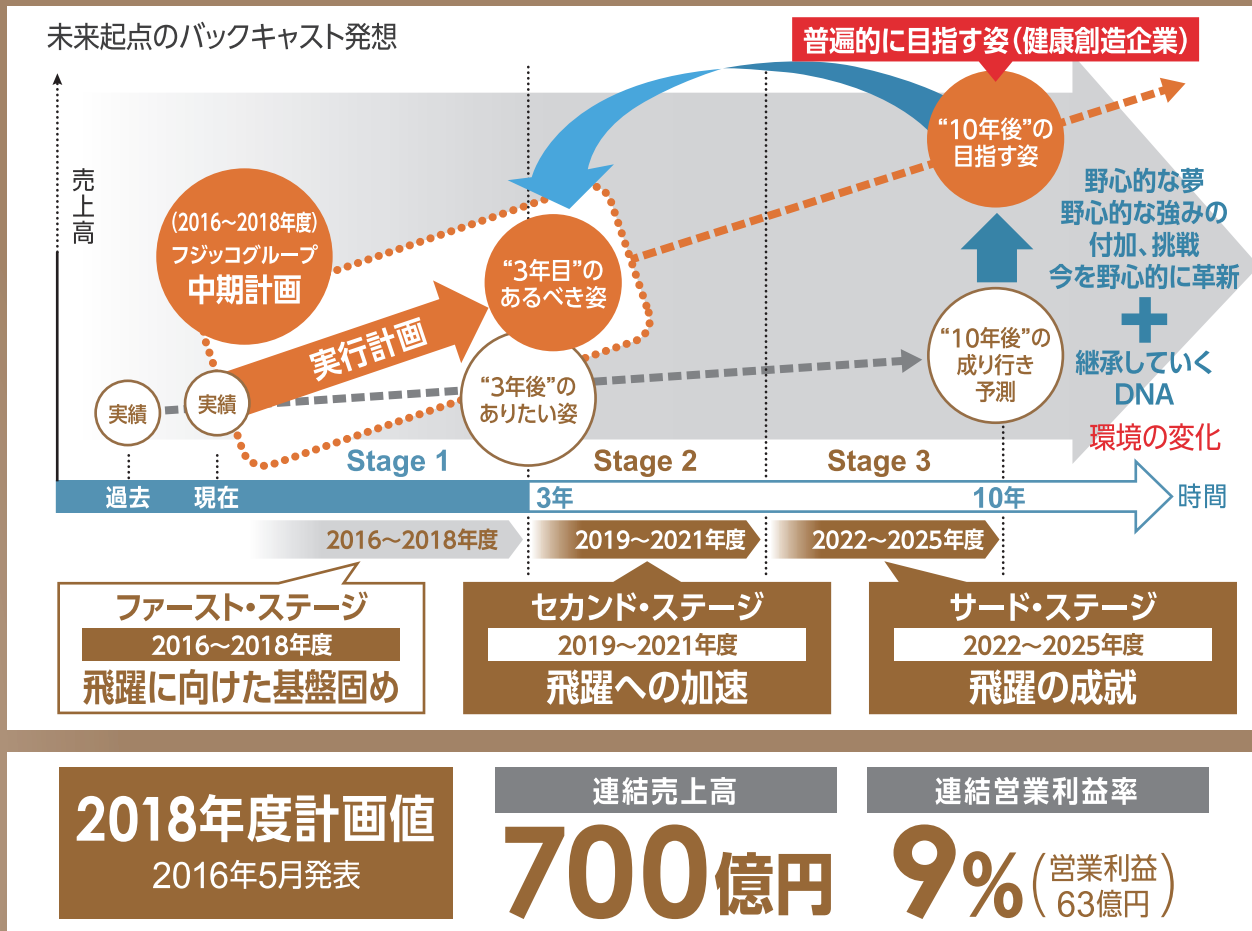
百万円（前期比7.6%増）、経常利益は57億3百万円（前期比6.1%増）となりましたが、前連結会計年度に投資有価証券売却益を特別利益として計上した影響が大きく、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は37億91百万円（前期比3.3%減）と前年実績には及びませんでした。

### お客様第一主義を実行します

2016年度は、全社テーマ「研鑽を重ね 安心・安全のブランドづくりで 新たな発展の基盤を固めよう」の下、品質保証体制を見直し安心・安全の操業に取り組みましたが、「ふじっ子大袋」のチャック不良及び「おぼんざい小鉢」の容器片（プラスチック）混入による2件の社告を伴う回収事故を発生させてしまう結果となりました。日頃からご愛顧いただいているお客様には多大なる



## 中期経営計画の要旨（2016～2018年度）



ご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

創業以来、フジッコグループは「安心・安全で健康な食品をお届けしたい」という想いで、製造年月日表示や合成保存料の撤廃など業界に先駆けた取り組みを自主的に実行してまいりました。お客様を常に第一に考える「安心・安全・健康」の品質第一主義の下、改めて品質保証体制の再構築に全社で取り組んでまいります。

### 中期3か年経営計画(1年目)を振り返って

フジッコグループは、10年後の目指す姿「フジッコNEXTビジョン2025」の実現へ向け、2016年度から2018年度の中期3か年計画で売上高700億円、営業利益63億円の達成を目指し取り組んでおります。初年度である2016年度につきましては、売上目標613.5億

円は未達となりましたが、営業利益目標51億円は達成することができました。

さて、2017年度は、新中期経営計画2年目の重要な年として8期連続となった増収増益<sup>※</sup>を絶やすことなく時流に適応した活動で持続的成長を果たすとともに、創業より大切にしてきた「安心・安全・健康」の価値創造基盤の再強化を図ります。また、ライフイベントに合わせて安心して働ける社内環境づくりを経営の重要課題と認識し、その専門部署としてダイバーシティ推進室を新設して取り組んでまいります。

フジッコグループは、「創造一路」の精神を常に持ち、新たな食文化開拓に挑戦する健康創造企業を目指してまいります。

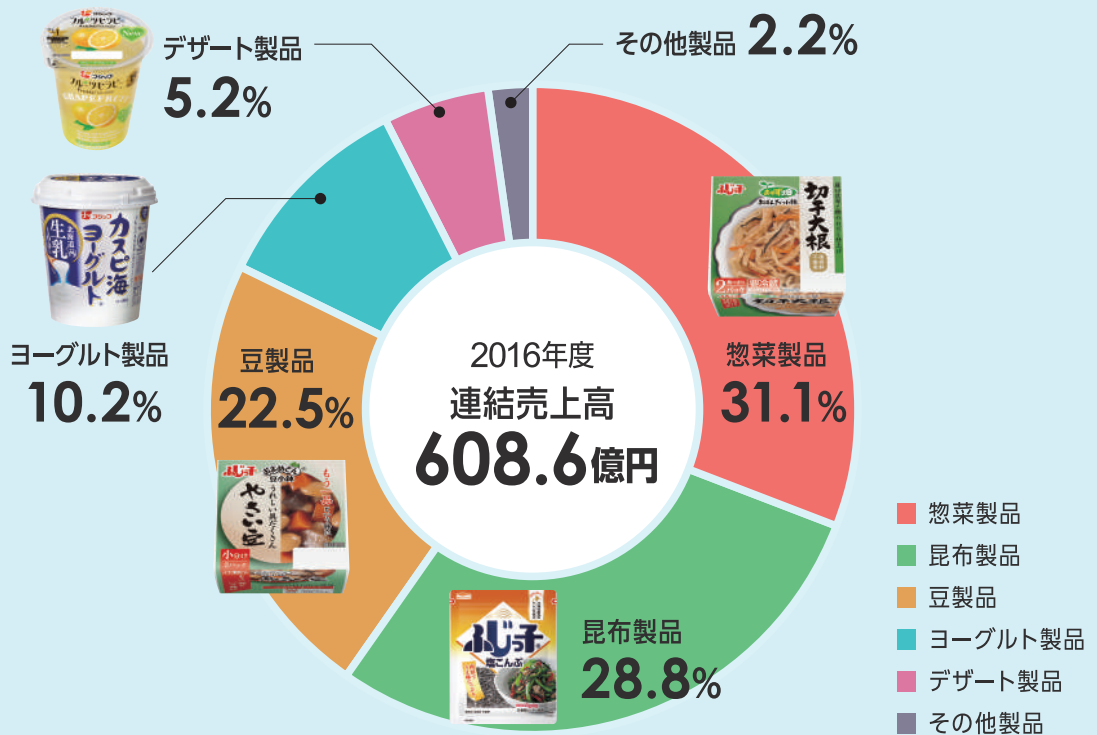
ステークホルダーの皆様には今後ともなお一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

※営業利益ベース

## フジッコの事業概況

2016年度は、売上が600億円を突破し、営業利益及び経常利益も過去最高を更新しました。また、飛躍的な成長を続けているヨーグルト製品の売上構成比が通期で初めて10%を越え、その存在感がますます高まっています。

### 製品別売上構成比



### 2016年度トピックス

#### 良かった点

- 営業利益、経常利益は過去最高益を更新
- 「カスピ海ヨーグルト」の復活
- 売上原価率の改善
- デリカ事業の持続的成長
- 通信販売事業の躍進

#### 悪かった点

- 製品事故  
社告を伴うリコール2件  
(ふじっ子大袋、おぼんざい小鉢)
- 洋風デリカ  
(朝のたべるスープ、ベスタデリ)の育成不足



## 惣菜製品

買い置き可能で手軽に使える包装惣菜や、出来立てのフレッシュな日配惣菜から構成されています。

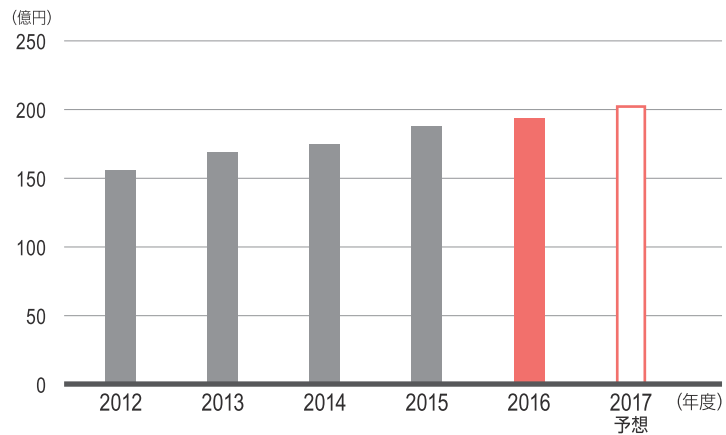


2016年度 売上高

**189億20百万円**

(前期比 3.6%増)

### 売上高の推移



### 製品の状況

惣菜製品は、日配惣菜の持続的な成長とともに、包装惣菜では、少量食べきりサイズの「おかず畑ミニ」シリーズが顕著に伸長し、惣菜製品の売上高は189億20百万円(前期比3.6%増)となりました。

2017年度におきましては、日配惣菜では、売上高の拡大と収益性向上のバランス改善に努め、包装惣菜では、食べきりタイプの「おばんざい小鉢」の育成に注力します。



## 昆布製品

ごはんの友である昆布佃煮や塩こんぶ、創業商品のとろろ昆布などフジッコのルーツとなる製品です。

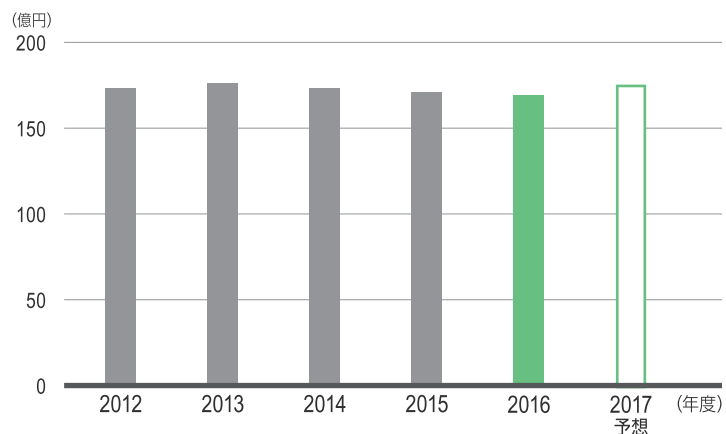


2016年度 売上高

**175億16百万円**

(前期比 0.3%減)

### 売上高の推移



### 製品の状況

昆布製品は、塩こんぶやとろろ昆布が伸長しましたが、佃煮が前年実績を下回ったため、昆布製品の売上高は175億16百万円(前期比0.3%減)となりました。

2017年度におきましては、佃煮において生活者視点からの時流に適應した商品改善・開発活動の実行、塩こんぶやとろろ昆布などのドライ品群の専属販売組織の新設等により、昆布製品全体の売上の再浮上に注力します。



## 豆製品

おなじみの「おまめさん」シリーズをはじめ、さまざまな料理にアレンジいただける水煮や蒸し豆などますます拡がりをみせる製品です。



2016年度 売上高

**137億2百万円**

(前期比 0.8%増)



## ヨーグルト製品

「カスピ海ヨーグルト」を中心とする製品です。プレーンヨーグルトだけでなく、乳酸菌FC株のサプリメントなども人気です。

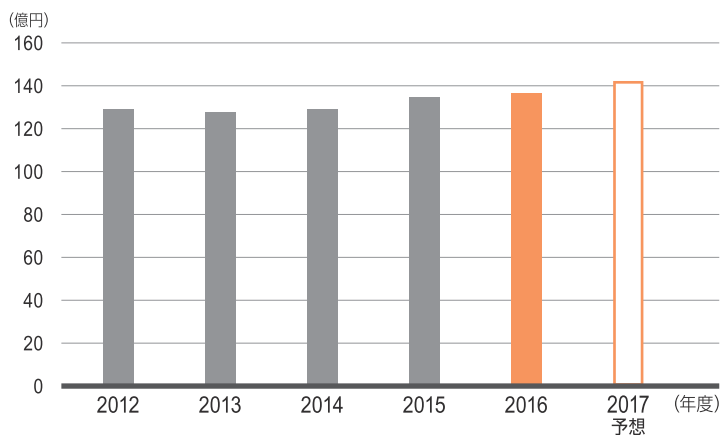


2016年度 売上高

**62億16百万円**

(前期比 27.4%増)

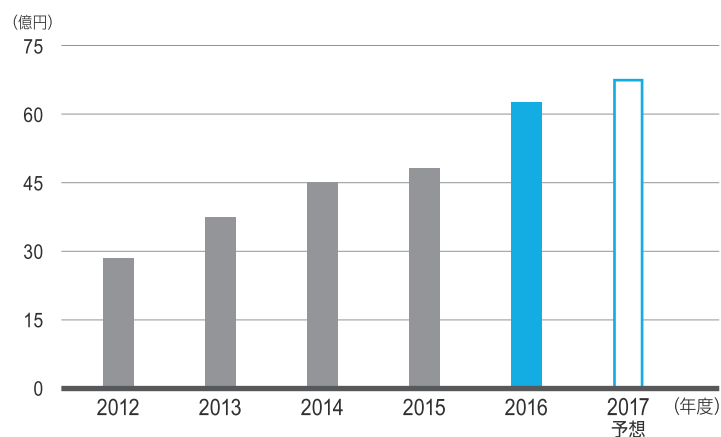
### 売上高の推移



### 製品の状況

豆製品は、個食ニーズに対応した食べきりタイプの煮豆「おまめさん豆小鉢」や「そのままがおいしい蒸し大豆」をはじめ機能性表示食品を3品まで拡充した水煮・蒸し豆「ビーンズキッチン」シリーズが顕著に伸長したことから、豆製品の売上高は137億2百万円(前期比0.8%増)となりました。2017年度におきましては、「おまめさん豆小鉢」の更なる販売拡大とともに、水煮・蒸し豆の品揃えの拡充により、売場の活性化に注力します。

### 売上高の推移



### 製品の状況

ヨーグルト製品は、量販チャネル等の「カスピ海ヨーグルト」シリーズの再成長に加えて、通信販売チャネルのサプリメント「善玉菌のチカラ」も2桁成長を続け、ヨーグルト製品の売上高は62億16百万円(前期比27.4%増)となりました。

2017年度におきましては、「カスピ海ヨーグルト」の機能性研究による機能性価値の追求とともに、新たなマーケティング戦略の展開による情緒的価値の向上を通じて、「カスピ海ヨーグルト」の更なるブランド価値向上に注力します。



## デザート製品

ナタデココやフレッシュなフルーツを使用したゼリー「フルーツセラピー」を中心とする製品です。

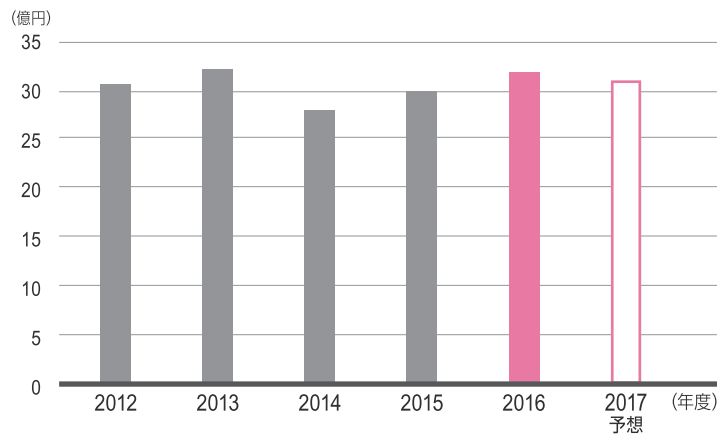


2016年度 売上高

**31億77百万円**

(前期比 5.9%増)

### 売上高の推移



### 製品の状況

デザート製品は、競争激化により依然として厳しい市場環境が続いておりますが、主力品目の販売拡大に注力し、デザート製品の売上高は、31億77百万円(前期比5.9%増)となりました。

2017年度におきましては、「フルーツセラピー」シリーズ発売15周年に連動したプロモーションを実施するとともに、ロングセラーの既存商品に加えて15周年記念商品「フルーツセラピー カラカラ&ブラッドオレンジ」を新発売し、デザート売場で選ぶ楽しさを訴求してまいります。

## TOPICS

### 改善するチカラ 便利な小分け食べきり惣菜

「おめさん」や「おかず畑」はお客様に長い間ご愛顧いただいているロングセラー商品ですが、なかでも小分け食べきりタイプの「豆小鉢」や「おぼんざい小鉢」は時流に適応しお客様から好評をいただいている製品です。

#### 社会・消費者ニーズの変化

- 少人数世帯の増加
- おいしいものを少しずつ

#### 「豆小鉢」や「おぼんざい小鉢」の特長

- 2パック小分けで便利
- カップ入りで移し替え不要
- いつでも開けたて新鮮



「豆小鉢」シリーズ

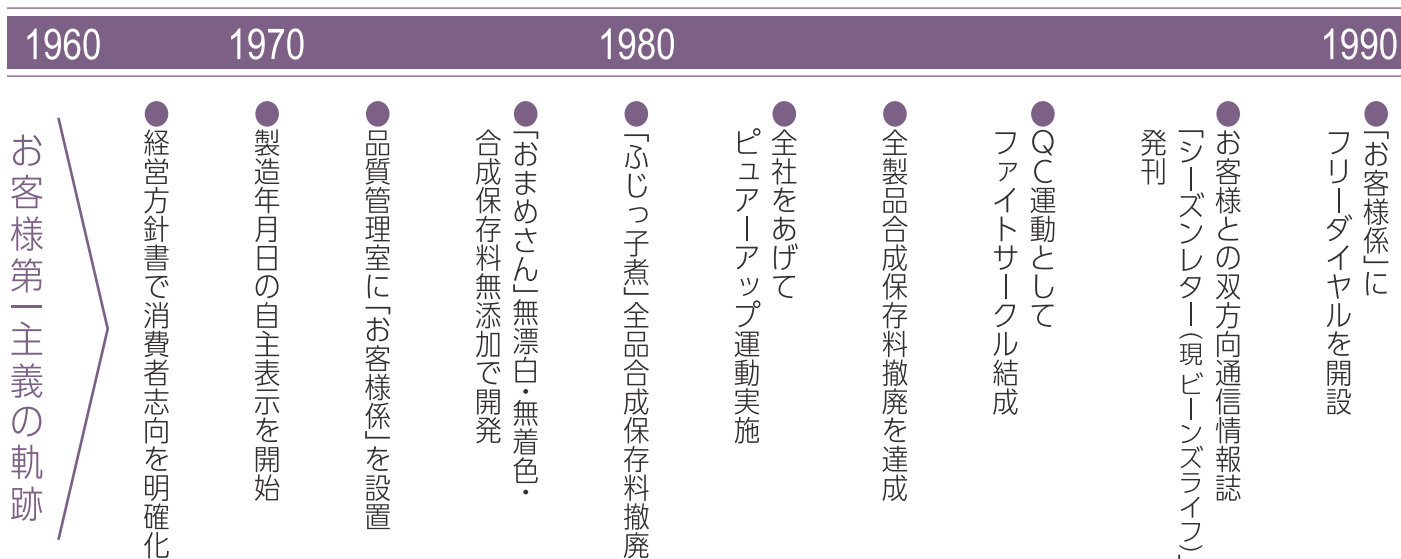
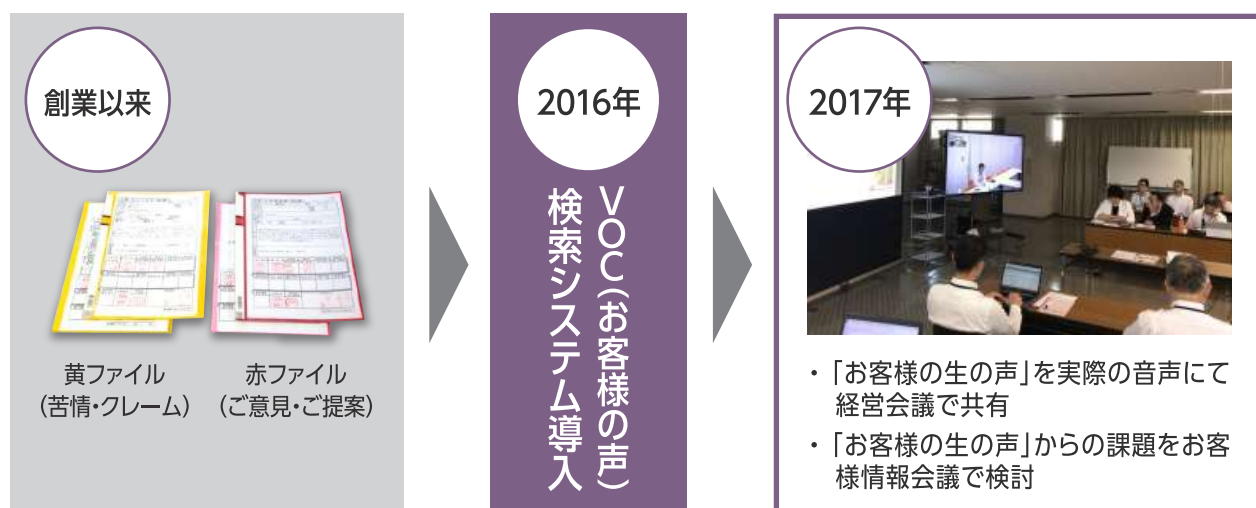


「おぼんざい小鉢」シリーズ

経営の基本を“お客様第一”に考え、  
「安心・安全・健康」の品質第一主義が  
社会の持続的発展に貢献することを目指します。

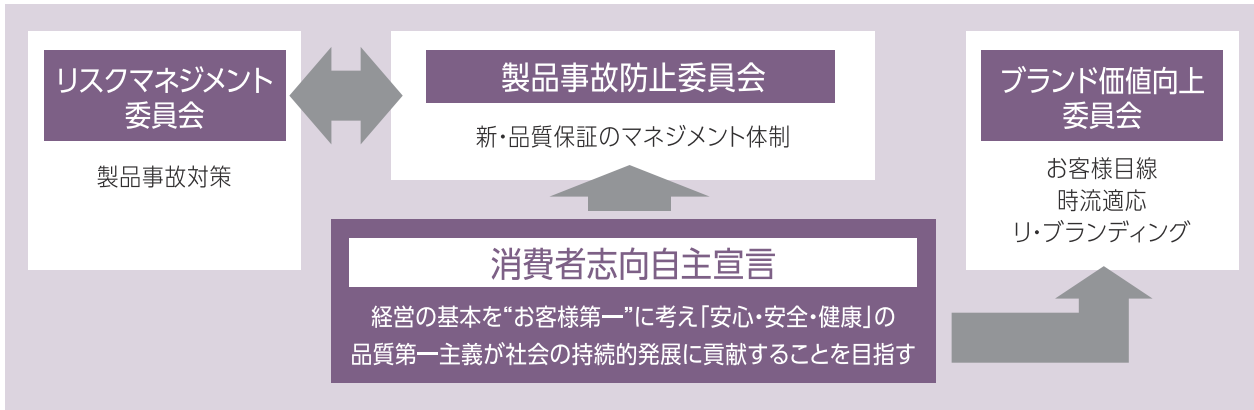
## 「お客様の生の声」を経営に生かす

創業以来、フジッコでは「お客様の生の声」を大切に、「赤ファイル」「黄ファイル」と呼ばれるお客様情報を常に経営陣に共有し、商品・サービスの問題改善につなげてまいりました。2016年にはVOC(お客様の声)検索システムを導入して電子化し、情報共有のスピード化を図りました。そして「消費者志向自主宣言」を公表した2017年からは「お客様の生の声」を経営会議で共有し、課題についてはお客様情報会議で改善策を検討しています。



## 「消費者志向自主宣言」具現化にむけた新体制

2017年1月16日に公表した「消費者志向自主宣言」の具現化に向け、下記の体制で取り組んでいきます。



### 製品事故の撲滅

#### 製品事故防止委員会

- ① 優先順位 (第一に安心・安全操業 第二に安定供給)
- ② 新・品質保証体制の再構築
- ③ 現場力を高めるための教育(原理原則教育)

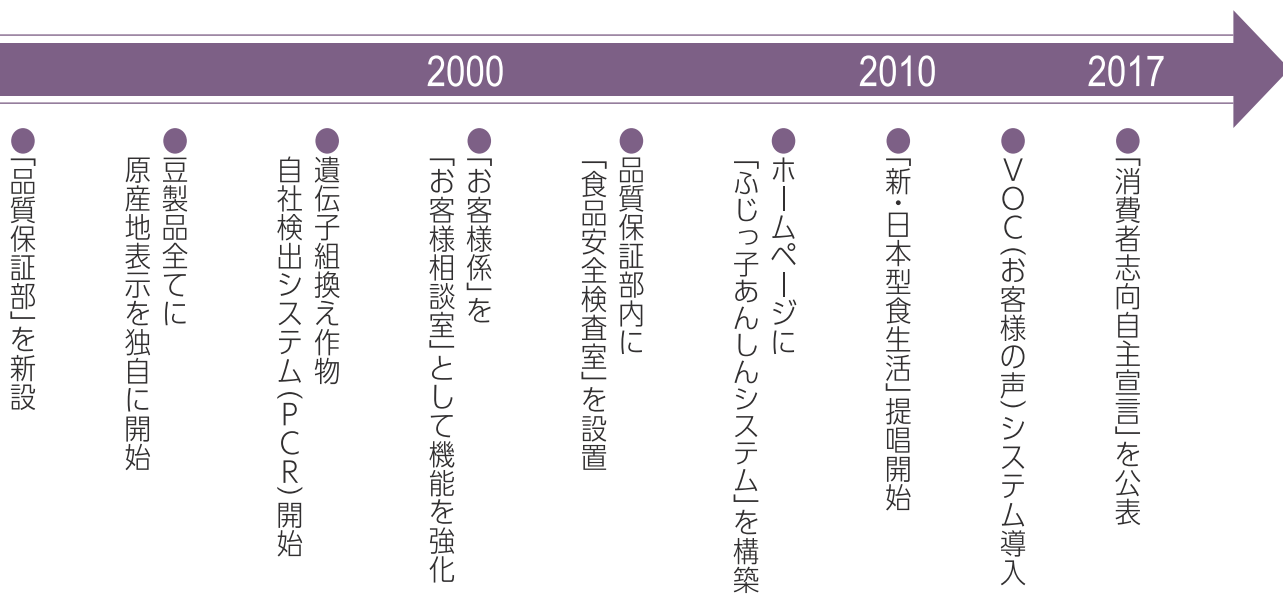
### 時流適応した商品の開発・改善の実行

#### ブランド価値向上委員会

- ① リ・ターゲティングで伝統に革新を加えた新・機能的価値の開発
- ② 情緒的価値に訴えたプロモーションの立案
- ③ お茶の間まで入り込んだ商品の開発・改善



<http://www.fujicco.co.jp/effort/>



# 安心・安全の ために



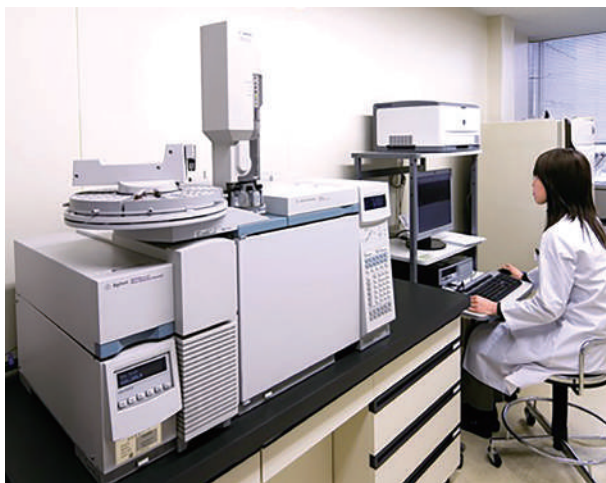
安心・安全な製品づくりは、食品を扱う企業として最も欠かせない要素であるという認識の下、フジッコグループでは、創業以来、安心・安全な製品づくりを心掛けております。

## 食品安全検査室

本社内の「食品安全検査室」では、製造現場ではカバーしきれない原材料の安全を確保するため、使用する原材料の検査を毎日実施しております。

国内原料・海外原料を問わず、専門検査員が、ロット毎に以下の検査を行っています。

- ◆ 残留農薬検査 (野菜や豆などの全ての農産物原料)
- ◆ 動物用医薬品検査 (魚介類、畜産物原料)
- ◆ 遺伝子組換え検査 (大豆原料など)
- ◆ アレルギー物質検査
- ◆ 放射性物質検査



▲ 食品安全検査室の様子

## より安心してご利用いただくために

その検査結果は、「おかず畑」、「水煮」シリーズなどの一部商品について、当社ウェブサイトにて公開しております。公開している検査内容及び、お客様からのお問い合わせが多い項目は以下となります。

- ① 原材料原産地
- ② 残留農薬検査結果
- ③ 遺伝子組換え検査結果
- ④ 検査日

下記のウェブサイトにてアクセスしていただきお手元の商品パッケージに記載された商品名、賞味期限及び製造番号をご入力いただくと検査結果が表示される仕組みです。ぜひお試しください。

各種検査結果閲覧			
豆のひよこのサラダ ミニの検査結果			
ご希望の商品名と検査結果は下記のとおりとなっております。			
	品名	豆のひよこのサラダ ミニ	
	製造工場	北海道工場	
	賞味期限	2016.03.07	
	製造番号	4000003	
原料名	原産地	検査日	検査結果
大豆	ベトナム	2016/12/15	合格
コーン	タイ	2016/12/15	合格
大豆	北海道	2016/12/15	合格
ひよこ豆	カナダ	2016/02/18	合格
レタ	アメリカ	2016/02/11	合格
にんじん	北海道	2016/02/10	合格



フジッコ 安心

検索

<http://www.fujicco.co.jp/effort/anshin/>





## お客様相談室

お客様の満足度と信頼性を高めるためには、安心・安全で常にお客様に喜ばれる商品を開発、改善していくことが重要です。お客様とのコミュニケーションの場である「お客様相談室」に寄せられた貴重なご意見、ご指摘は、「VOC (Voice Of Customer) 検索システム」を通じて、関係各署で共有できる体制を整えております。

お客様の声を一番にお聞きする「お客様相談室」の第一の使命は、お客様からのお問い合わせに対して誠実にお応えし、満足度と信頼性の高い対応を行うことです。

毎日頂くお客様の生の声から商品の開発、改善に活用する

「商品開発の支援」、相談内容からリスクを早期に発見し、未然に防止する「品質保証の強化」を行うため、2016年3月から、「VOC検索システム」を利用し、生産・開発・マーケティング・営業・経営管理といった部門の壁を越えて情報発信を行い、問題解決を図っております。

また、毎月「お客様情報会議」を開催し、お客様の生の声から抽出された課題に対して、経営陣も含め、解決に至るよう取り組みを行っております。その内容は、商品の味や見た目の品質はもちろん、食品表示やパッケージの内容からお客様へのご案内方法に至るまで多岐に渡ります。

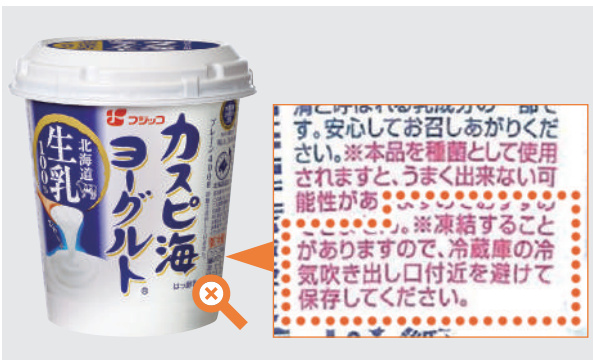
## お客様の生の声による商品改善事例

### 事例 1

#### 「カスピ海ヨーグルト」凍結の注意書き

要冷蔵の商品である「カスピ海ヨーグルト」に、お客様から、「冷蔵庫に入れていたら凍ってしまった」というお声をいただきました。冷蔵庫の噴出し口付近は、設定温度よりも温度が低くなる可能性があり、付近に置いていた「カスピ海ヨーグルト」が凍ってしまったようでした。

そのような事案は他にもあるに違いないと考え、パッケージに注意点として、赤字で説明を追記しました。

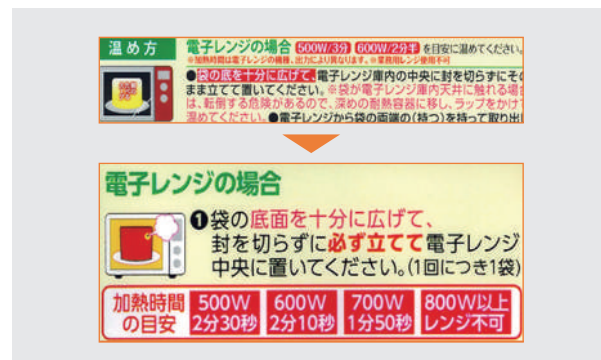


### 事例 2

#### 「朝のたべるスープ」調理時間の目安表示

レンジアップ調理の「朝のたべるスープ」に、お客様から、「レンジが700Wなのですが何分温めますか?」とのご質問をいただきました。それまで500Wまたは600Wの場合しか記載がなく、お客様のおっしゃるとおり、それ以上の出力の場合の目安時間がわかりませんでした。

そこで、700Wの場合と800W以上の場合を追記し、また温め方の説明についてレイアウト変更の改善を実施しました。





フジッコグループでは、皆が安心して働け、  
またやりがいのある職場を目指して様々な取り組みを実施しています。

## 安心して働ける職場づくりのために

### ダイバーシティ推進室の新設

働き方改革の専門部署としてダイバーシティ推進室を新設し、女性活躍推進、労務問題の撲滅に向けた取り組みを推進するとともに、人事・報酬・評価制度といった会社の仕組みから改革し、より多様性のある会社への進化を目指します。

### ハラスメント防止

セクシャルハラスメント・パワーハラスメントなどの様々な嫌がらせ(ハラスメント)を禁止することを就業規則で明確に定めるとともに、残業や休日その他の労務問題も含めた労務相談窓口を設置し、安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。

### メンタルヘルス研修会の実施

一般従業員向け、管理職向けにそれぞれメンタルヘルス研修会を実施しています。産業カウンセラーを講師にお迎えし、こころの健康に配慮する意味、ストレスに強くなるための対処法、職場の人間関係を円滑にする方法などをワークショップを交えて教えていただいています。



▲メンタルヘルス研修の様子

### 育児・介護休業制度の取得者数推移 (単位:名)

年度		2012	2013	2014	2015	2016
育児休業	女性	7	12	8	7	20
	男性	0	0	0	0	0
計		7	12	8	7	20
介護休業	女性	0	0	0	0	1
	男性	0	1	0	0	0
計		0	1	0	0	1
総計		7	13	8	7	21

集計対象組織：フジッコ株式会社

### 再雇用者数・障がい者雇用者数・率推移 (単位:名)

年度	2012	2013	2014	2015	2016
再雇用者数	12	6	13	15	11
障がい者雇用数	27	29	31	32	33
障がい者雇用率	1.56%	1.82%	2.01%	1.98%	1.90%

法定障がい者雇用率  
2012年度まで：1.8%  
2013年度～：2.0%

集計対象組織：フジッコ株式会社



## 働きがいのある職場づくりのために

### 業績連動型報酬制度

フジッコグループでは、全社が結束して業績の向上を目指すためのインセンティブプランとして、業績連動型報酬制度を導入しています。

対象者	取締役及び執行役員	管理職	一般社員
制度	1円ストックオプション	株式給付信託(J-ESOP)	決算賞与
制度の内容	取締役及び執行役員が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、企業価値向上への貢献意欲を高めるため、1株当たり1円で自己株式の交付を受けることができる権利を割り当てます。	管理職以上の従業員(執行役員を除く)に対し個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、退職時に当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。	夏・冬の賞与とは別に、業績に応じた決算賞与を支給します。

### グッドジョブ表彰

優れた功績をあげた従業員をグッドジョブ表彰として表彰しています。

業績への貢献度の大きさに応じて、「ホームラン賞」「塁打賞」「ヒット賞」があり、また「ホームラン賞」受賞後、更に貢献度が高いと判断された場合は「社長特別賞」の追加表彰もあります。

### 人事総務部長より

2017年度は、「ダイバーシティ推進室」を新設し、人材育成を含む「女性活躍」と「労務改善」の推進を強化し、社員の「意識と行動」を変えるための施策をより強く推進したいと考えております。

既存の制度を踏襲し、小手先の改善を目指すのではなく、新しい仕組みを創り出す事で、「風土改革」を目指す事を重視した推進室の設置であり、以下の概要で取り組む計画であります。社内の【制度】と【環境】を大きく変える事により、社員の【意識と行動】の変化を促し、事業の発展が加速できる体制づくりを目指す必要があると考えております。

現在、【制度】においては、①人事制度(職責・評価・報酬)の見直し、②労働時間短縮と生産性向上の制度化、③女性に適する職務・部署の開発を優先し推進してまいります。また、【制度】を後押しする社員の能力開発とOJT指導者の育成プログ

ラムの強化も進行中であり、新しい試みを重視しております。特に、入社時から4年目までの若手社員に対する継続的な適性評価とフォローアップ研修の強化で、活躍できる人材の活躍できる部署への配属を目指しております。一方【環境】創りにおいては、「女性活躍フォーラム」を初開催し、女性社員が共通の話題で繋がりを持つ機会を設ける事が出来ました。意識が変わるきっかけとして、このフォーラムの展開が重要だという事も確認いたしました。また、定時以降の社内電話を控え、各自の業務効率向上を意図した「ストップ18」運動の促進も取り組みを進めてきております。これからの成果を期待したいところであります。

わが社における「働き方改革」元年と言える年度となるよう、推進室の強化を進め、未来フジッコの基盤を創出していく覚悟であります。



## 環境基本方針

フジッコグループは、「すこやかフジッコ」を合言葉に日本の伝統食・伝統食材に基づいた、健康という付加価値を持った商品を創り出しております。

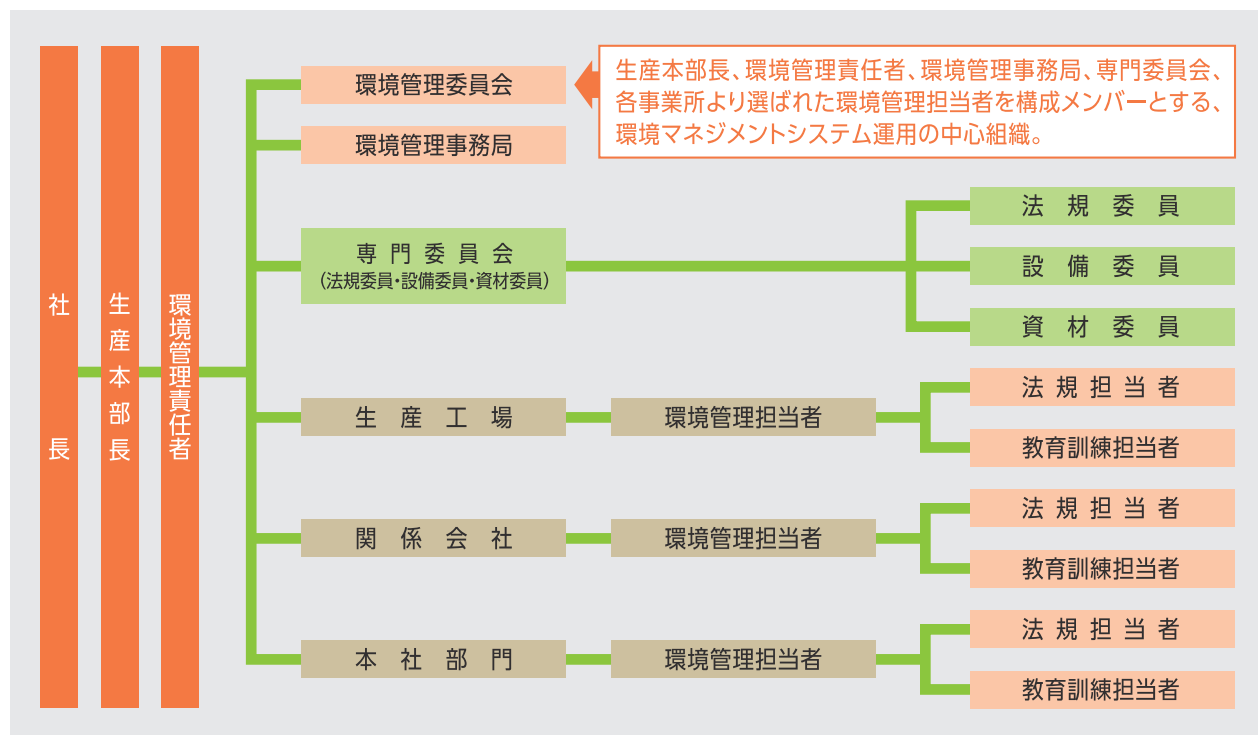
健康という付加価値をもつには、まず、素材と従業員が健康でなくてはなりません。そのためには、地球環境が健康であることが不可欠であります。近年、私たちの住む地球は、科学技術の発達と生活環境の変化によって汚染が進み、食品の安全性を含め生活環境の破滅を招く事態となっております。

ここに、食を通じて社会の役に立ちたいと願うフジッコは各工場において環境に配慮した生産活動を行い、地球環境の改善ならびに地球環境への負荷軽減に資するよう、絶えず努力することを誓います。

## 環境行動指針

- 1 事業活動に関わる環境側面を常に配慮し、環境マネジメントシステムを構築することにより、環境保全活動の継続的な向上を図ります。
- 2 食品工場の宿命として水の使用量が多いこともあり、水質汚濁防止のため工場排水を重点的に管理し、地域社会との共生を図ります。
- 3 主な消費エネルギーである電力や重油の節減に取り組むとともに廃棄物の低減化、リサイクル、リユースにも努力します。
- 4 環境基本法を中心とした環境関連の法律・規制・協定を遵守するとともに、国際環境規格を守ります。
- 5 中期目標と単年度目標を設定し、毎年見直しを行って改善に努めます。

### 環境管理活動の組織体制





## 環境負荷低減の取り組み

各工場における環境負荷低減の取り組み（抜粋）

### 【北海道工場】

- 夜間の待機電力の削減やエアコン散水装置の稼働により節電に取り組みました。
- 水煮の水さらし時間のタイマー管理や真空ポンプ冷却の水量をみえる化し、節水に取り組みました。
- 省エネ委員会が中心となり勉強会を開催しました。

### 【東京工場】

- 照明のLEDへの更新を継続して実施しています。
- 地域のごみ拾いを継続して行っています。

### 【浜坂工場】

- 包材、トレーなどプラスチック製品はきれいなものはリサイクル、汚れたものはサーマルリサイクルに変更しました。
- 蛍光灯10台をLEDに交換したり高効率モーターに更新することで消費電力の削減に取り組みました。
- 工場周辺の側溝、道路などのクリーン作戦を2回実施するとともに、定期的に近隣の農道の草刈、溝掃除を行いました。



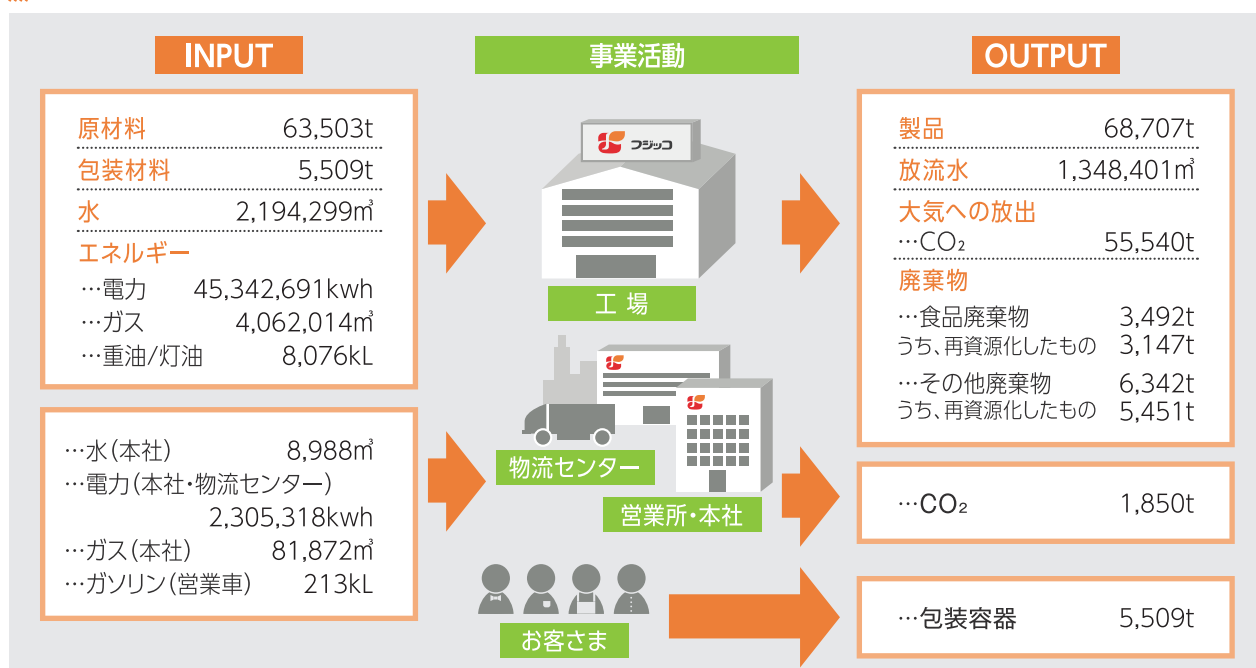
### 太陽光発電事業

フジッコグループでは、エネルギー自給率の向上、環境負荷の軽減及び安心して暮らせる社会の実現に微力ながら貢献したいという思いから、2013年7月より工場の屋上などを利用した太陽光発電を行っております。

発電量の推移

2015年度実績	2016年度実績
1,188,565kwh	1,171,011kwh

## 環境負荷の全体像（2016年度）





## 食育DAYの開催

フジッコでは、毎年「食育DAY」と題してお客様や弊社従業員を対象としたイベントを開催しています。2016年8月25日に開催した第7回食育DAYでは、テレビでもおなじみの小林弘幸氏（順天堂大学医学部教授）による腸と自律神経に関する基調講演をはじめ、本多京子氏（医学博士・管理栄養士）によるシニア向けの料理教室や「菌活時代到来！ Wパワーで腸美人」と題したパネルディスカッションなどを行いました。



▲料理教室の様子



▲腸に良いストレッチ体操

## 「フジッコ×浜学園」食育セミナー

2016年4月6日、兵庫県西宮市の学習塾「浜学園」の幼児教育部門「はまキッズオルパスクラブ」に通う4～7歳の子供たちとその保護者24組48名をお迎えし、豆についてのクイズと調理体験などを実施しました。子供たちの楽しそうで真剣な姿が印象的でした。楽しく学んで食べて、食の楽しさを体験していただく1日となりました。



▲豆つかみゲーム



▲調理体験

## 丹波篠山親子黒豆体験

6月に兵庫県篠山市で作付けし、10月～11月に収穫、12月フジッコ本社でおせち料理教室と、和食文化のおせちに欠かせない黒豆が、畑で育ち、収穫され、食卓に並ぶまでの一連の流れを全身で感じていただく食育プログラムを実施しています。毎回大好評のイベントで、2016年度で8回目となりました。



▲収穫の様子



## 「おはぎとこんぶ」で詐欺防犯活動

兵庫県の西宮警察署と大手前大学の学生が、高齢者を狙った詐欺被害を防ぐため、合言葉「おはぎとこんぶ」を考案。地元企業であるサザエ食品様のおはぎとフジッコの塩こんぶを配布し防犯を呼びかけました。

### 「合言葉」

- お** …「オレ、オレ」だけで息子と思わない!!!
- は** …犯人は話上手!!!
- ぎ** …「銀行に行って」は詐欺!!!
- と** …友達・家族にまず相談!!!
- こん** …「こんにちは」と訪ねてくるのも要注意!!!
- ぶ** …これだけわかれば大丈夫!!!



▲防犯を呼びかける様子

## 「カスピ海ヨーグルト合格応援式」

2016年11月17日、東京の東京都市大学等々力高校にて、受験生を対象に「カスピ海ヨーグルト合格応援式」を開催しました。

カスピ海ヨーグルトの特徴である「ねばり」にかけ、「受験にねばり勝とう」という想いを込めて、神戸の北野天満神社にてご祈祷を受けたねばり勝ちダルマに願いを込めました。



▲ねばり勝ちダルマ

## ネパール大地震 被災者支援

2015年4月25日に発生したネパール大地震では、犠牲者9,000名、負傷者2万名以上と、甚大な被害となりました。

以前より、フジッコではヨード欠乏症の根絶を目指して活動している熱田親憲先生の「ネパール・ヨードを支える会」に対して、“昆布ミネラルカプセル”の無償提供で応援してきた経緯があり、被災された方々の健康にお役立ちできればという思いから、発生直後より、支援物資として被災地で不足しがちなたんぱく質や食物繊維が豊富な「煎り黒豆」を提供しており、2016年度も継続して実施しております。



▲シンドウパールチョコ郡の子供たち

フジッコグループでは、株主や投資家の皆様と長期的な信頼関係を築くため、適時・適切な情報開示を行うとともに、ファン株主となっていただけるよう、より良いコミュニケーションを目指してまいります。

## 2016年度に実施したこと

決算説明会	個別ミーティング・ スモールミーティング	個人向け IRフォーラムへの参加	個人向け IRセミナー
2回	61回	1回	3回

## 株主優待制度

1,000株以上保有の株主様に対して3,000円相当、  
100株以上1,000株未満保有の株主様に対して1,000円相当の当社製品詰め合わせを贈呈いたします。

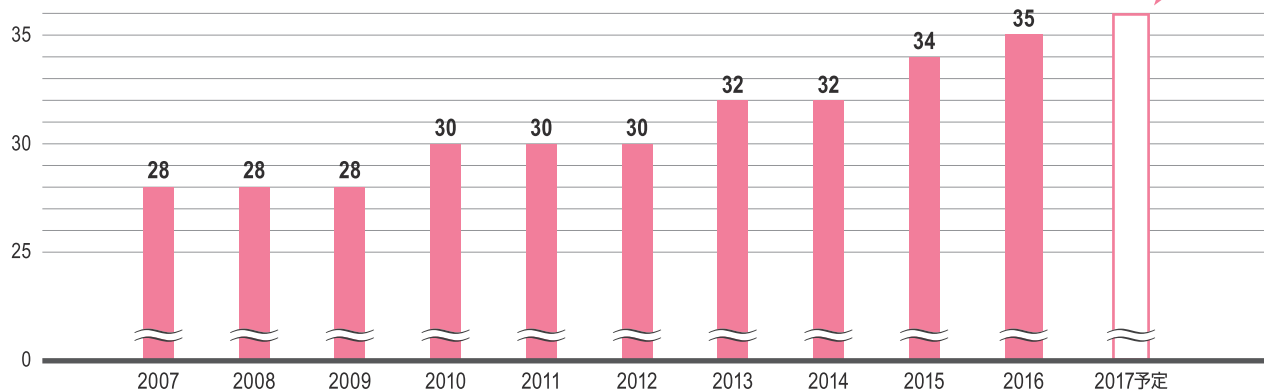
1,000株以上保有の株主様	100株以上1,000株未満保有の株主様
 <p>3,000円相当の自社製品詰め合わせ</p>	 <p>1,000円相当の自社製品詰め合わせ</p>

※画像はイメージです。 ※優待品の内容は毎年変更しますので、ご了承の程お願いいたします。

## 配当方針

剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本方針としております。  
収益性の向上と財務体質の強化に努め、着実に業績を向上させ、安定配当を図ってまいります。

1株当たり配当金(円)の推移





## ファン株主づくり活動について

2016年度から、フジッコグループでは、適正株価の安定化及び長期的な企業価値の向上を目指し、長期保有の株主数を増やすための取り組み「ファン株主づくり」に注力しております。

### 「ファン株主づくり」の取り組み

#### 個人投資家に向けた説明会の充実

2016年8月21日、「個人投資家向けのIRフォーラム 2016 summer」に出展し、当社代表取締役社長の福井正一より、「フジッコ、ネクスト・ステージへ!!」と題して事業の内容から新中期経営計画などについて説明させていただきました。同様の説明会を大阪・神戸でも実施し、それぞれ多くの投資家様にご来場いただきました。また、東京会場では、展示ブースをご用意し個人投資家の皆様に当社や商品について知っていただく良い機会となりました。



▲説明会(東京)の様子

#### 定時株主総会の取り組み

2016年6月22日、フジッコ株式会社の第56回株主総会を開催しました。例年フジッコ本社にて開催していましたが、神戸のポートピアホテルでの開催に改め、2016年度から始まった新中期経営計画等について株主様にご説明しました。また、恒例の商品展示会も従来よりパワーアップし、より親しんでいただける内容となりました。



▲株主総会



▲商品展示会

#### 株主・投資家向けコミュニケーションツールの充実

よりわかりやすく、より読みやすくをモットーに、コミュニケーションツールの充実を順次行っています。

2016年度には、ホームページのIRページ、配当通知書と一緒に株主様へ送付している報告書や統合報告書「フジッコレポート」(本書)をリニューアルしました。2017年度には、定時株主総会招集通知について、カラー化とビジュアル化のリニューアルを行いました。



▲ファン株主サイト



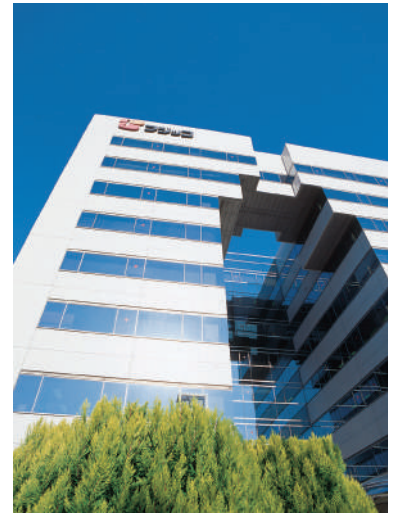
フジッコ IR

検索

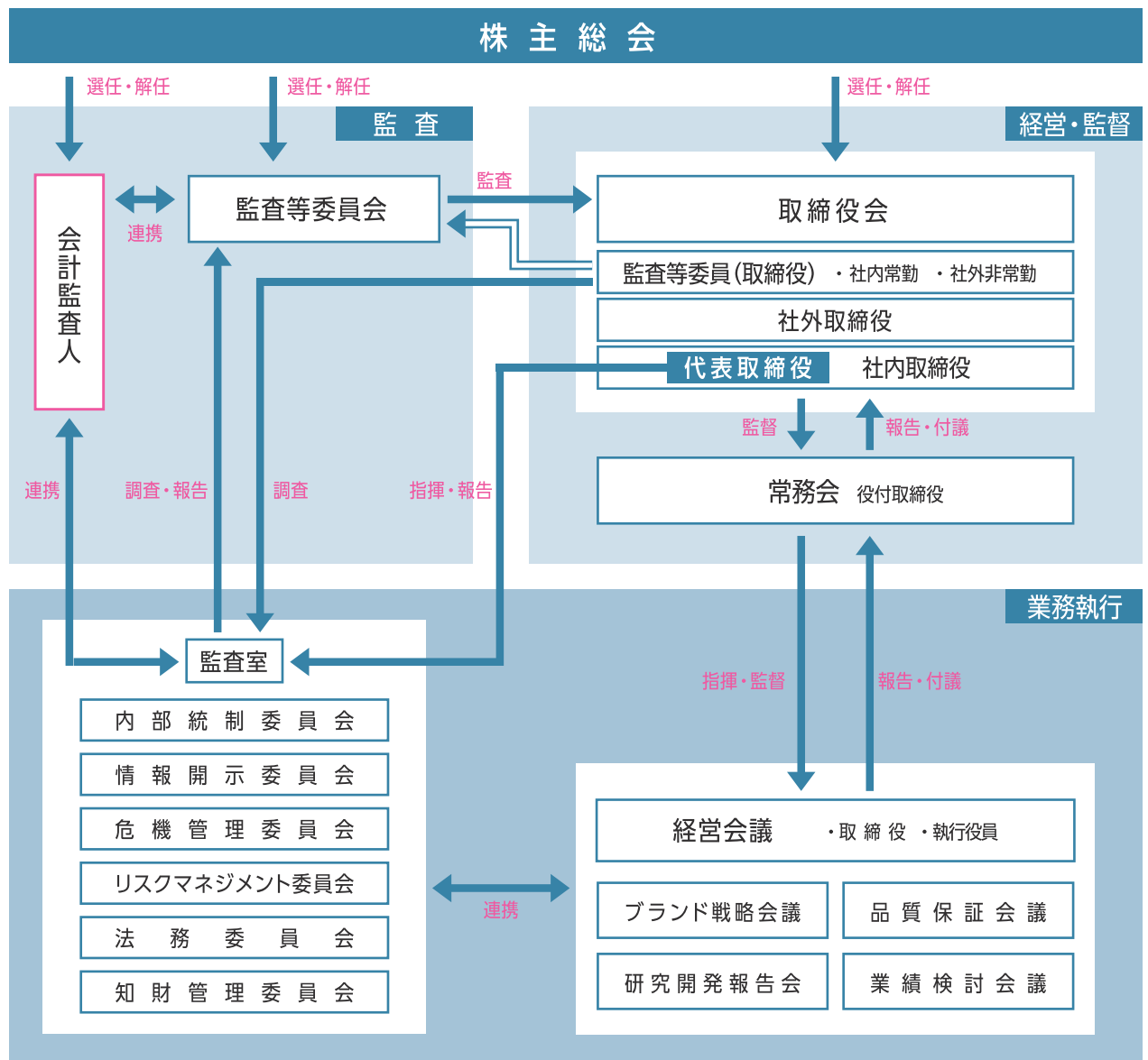
<http://www.fujicco.co.jp/corp/ir/>

## 基本となる考え方

フジッコグループでは、株主の皆様をはじめ、お客様、地域社会、従業員などのステークホルダーの皆様からの信頼を高めるため、法令を遵守し、倫理観をもって企業の社会的責任を果たすこと、また、迅速で正確な情報把握と意思決定及び適時な情報開示を行い、事業活動を通して適切な利益を確保するとともに、フジッコブランドの強化と資産の有効活用を通して、企業価値を高めていくことを基本方針としています。



▶▶▶ コーポレート・ガバナンス体制図



## リスクマネジメントの取り組み

持続的な成長と中長期的な企業価値の最大化に向け、経営資源の再配分による新たな事業の成長戦略を進めるに当たり、企業を取り巻くリスクも多様化し、自己責任の増大により、リスクがもたらす損害を最小限に抑えることが不可欠となりました。

2016年度の取り組みとして、リスクマネジメント委員会では、「労務問題対策」「建物・生産設備老朽化対策」を取り上げ、それぞれ実効的な解決策の立案・実行に取り組んできました。

2017年度は、「製品事故防止対策」「大規模災害対策」をテーマに、問題解決を図っていきます。

## ガバナンス体制の強化

10年後の目指す姿「フジッコNEXTビジョン2025」の実現に向け、2016年度からの中期3か年経営計画をファーストステージ「飛躍に向けた基盤固め」として位置づけ、「コーポレートガバナンス・コード」の実践を通じて、持続的な成長と中長期的な価値向上を支える企業基盤の強化にも注力してまいります。

### 2015年

- 常務会の新設
- 執行役員制度の導入
- 役員向けストックオプション制度の導入
- 単元株のくくり直し

### 2016年

- 監査等委員会設置会社への移行
- 社外独立取締役の意見を取り入れる体制の確保
- 役員退職慰労金制度の廃止
- 経営の重要意思決定の会議体の再整備
- リスクマネジメント委員会の発足
- 連結子会社2社の吸収合併

## フジッコグループの倫理規準

### 1. 法令の遵守

- 国内外の法令及び規則、社内規則を遵守し、公序・良俗を大切に、高い倫理観の下で行動します。

### 2. 人権の尊重

- 人権を尊重し、人種、信条、宗教、年齢、性別、門地、心身などに基づく差別をしません。
- 性的嫌がらせ及び嫌がらせと誤解される発言、行動を認めません。
- 権力・地位を不当に利用した嫌がらせを認めません。

### 3. 安全、安心な製品への取り組み

- 食品製造業に携わる者として、常に安全で安心な製品づくりに取り組みます。

### 4. 顧客、取引先との関係

- 信義、誠実、公正、透明な対応を心がけ良好な関係の構築に努めます。
- 公正かつ自由な競争を維持、促進することに努めます。
- 取引先等の役員に対し贈賄行為、不正な利益の供与を行いません。また、受けることはありません。

### 5. 職場環境の確保

- 労働関係法令を遵守し、安全・衛生で健康に十分配慮した、働きやすい職場環境の確保に取り組みます。

### 6. 守秘義務、知的財産権の尊重

- 会社の機密情報を許可なく第三者に漏洩したり、不正に使用しません。
- 顧客、取引先など第三者の機密情報も会社の機密情報と同様に扱います。
- ソフトの不正コピーなど第三者の知的財産権を侵害しません。

### 7. 公私の厳密な区別

- 会社の利益に反する行為は行いません。
- 会社の資産や経費を会社の利益に反して使用することはありません。

### 8. 反社会的勢力への姿勢

- 反社会的勢力及び団体に対しては、毅然とした態度で臨み、反社会的行為には加担しません。

### 9. 地球環境保全への配慮

- 地球環境の保全に役立つことを考え、有害な行動をとりません。

### 10. 社会的責任の遂行

- 良き企業市民として、よりよい社会の実現にむけ積極的に社会貢献に努めます。
- 様々な関係者の理解及び支持を得られるよう積極的に企業情報を開示し、透明性の高い経営を行います。

## 取締役



**代表取締役社長**  
ふくい まさかず  
**福井 正一**

1995年 当社入社  
1996年 取締役就任  
2000年 常務取締役就任  
2002年 専務取締役就任  
2004年 代表取締役社長就任 (現任)



**専務取締役 経営管理本部長  
兼通信販売事業部長**

おくひら たけのり  
**奥平 武則**  
1974年 当社入社  
1996年 取締役就任  
2004年 常務取締役就任  
2007年 専務取締役就任 (現任)  
2012年 経営管理本部長就任 (現任)  
2017年 通信販売事業部長就任 (現任)



**常務取締役 生産本部長**  
かごたに かずのり  
**籠谷 一徳**

1982年 当社入社  
2004年 取締役就任  
2008年 常務取締役就任 (現任)  
営業本部長就任  
2016年 生産本部長就任 (現任)



**常務取締役 営業本部長**  
いしだ よしたか  
**石田 吉隆**

1983年 当社入社  
2007年 取締役就任  
2015年 開発本部長就任  
2017年 営業本部長就任 (現任)  
常務取締役就任 (現任)



**取締役 人事総務部長**  
やまだ かつしげ  
**山田 勝重**

1978年 当社入社  
2004年 取締役就任 (現任)  
開発本部長兼商品開発部長  
兼技術開発部長就任  
2009年 フジコン食品株式会社  
代表取締役社長就任  
2012年 開発本部長就任  
2015年 人事総務部長就任 (現任)



**取締役 マーケティング本部長**  
きたじま みきや  
**北島 幹也**

2004年 当社入社  
2007年 営業本部営業企画室長就任  
2008年 取締役就任 (現任)  
2012年 開発本部副本部長  
兼商品企画室長就任  
2014年 マーケティング本部長就任 (現任)



**社外取締役 (独立役員)**  
わたなべ しゅうたろう  
**渡邊 正太郎**

1960年 花王石鹼株式会社 (現花王株式会社) 入社  
1988年 花王石鹼株式会社代表取締役副社長  
2002年 社団法人経済同友会副代表幹事・専務理事  
2006年 社団法人経済同友会終身幹事 (現任)  
早稲田大学監事  
2008年 当社社外監査役就任  
2012年 当社社外監査役退任  
2015年 当社社外取締役就任 (現任)

## 取締役 監査等委員



## 取締役 監査等委員

やまざき あきふみ  
山崎 章史

1979年 当社入社  
2003年 フジッコフーズ株式会社代表取締役社長就任  
2008年 取締役就任  
生産本部鳴尾生産事業部長就任  
2015年 ロジスティクス推進部長就任  
2016年 取締役監査等委員就任（現任）



## 社外取締役 監査等委員（独立役員）

いしだ あきら  
石田 昭

1971年 等松・青木監査法人  
（現有限責任監査法人トーマツ）入社  
1984年 社員  
1992年 代表社員（現パートナー）  
2012年 有限責任監査法人トーマツ退職  
株式会社京写 社外監査役（現任）  
2013年 当社社外監査役就任  
2016年 当社社外監査役退任  
当社社外取締役監査等委員就任（現任）



## 社外取締役 監査等委員（独立役員）

ひきの たかし  
曳野 孝

1992年 ハーバード・ビジネス・スクール経営部門主任研究員  
1998年 京都大学大学院経営学研究科・経済学部助教授  
2015年 コッチ大学管理科学・経済学部併任教授（現任）  
2016年 京都大学経営管理大学院客員教授（現任）  
当社社外取締役監査等委員就任（現任）

## 執行役員

あらた かずゆき  
荒田 和幸

上席執行役員/  
営業本部副本部長兼広域営業部長

みつはし やすお  
三橋 康生

上席執行役員/  
生産本部デリカ事業部長

よしじま つよし  
吉島 剛

執行役員/  
営業本部東日本統括部長

おがわ しんたろう  
小川 眞太郎

執行役員/  
営業本部西日本統括部長

やまもと かずのり  
山本 和則

執行役員/  
営業本部販売企画部長

いしだ ひでき  
飯田 秀喜

執行役員/  
生産本部副本部長兼製造部長

たけむら しんしちろう  
竹村 晋七郎

執行役員/  
生産本部品質保証部長

こだん たけお  
小段 健男

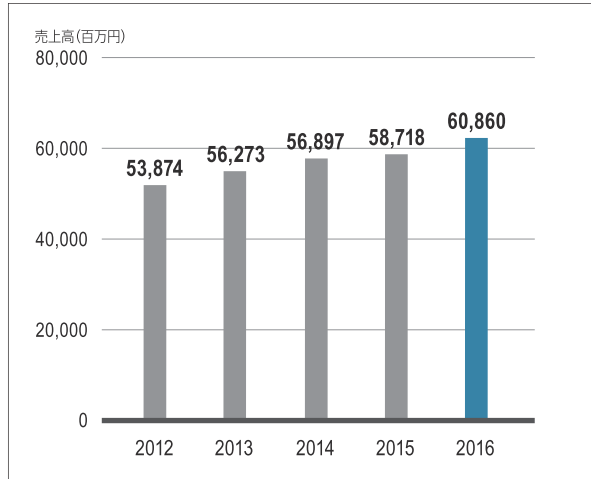
執行役員/  
マーケティング本部商品開発部長

てらじま ひろみ  
寺嶋 浩美

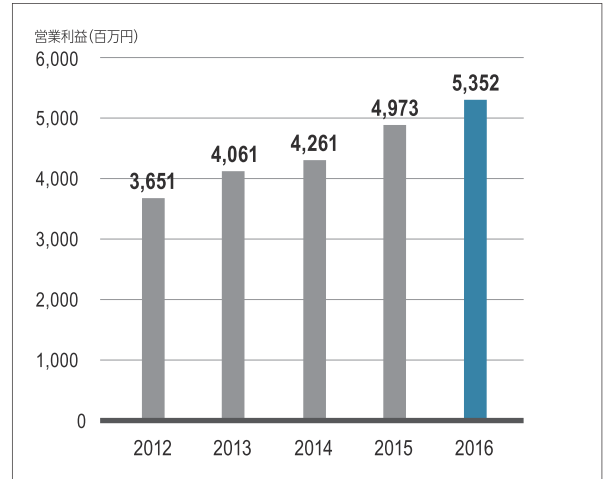
執行役員/  
マーケティング本部マーケティング部長

## 財務

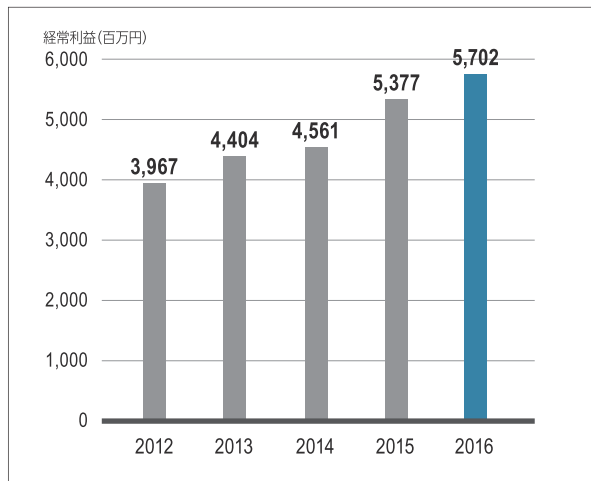
### 売上高



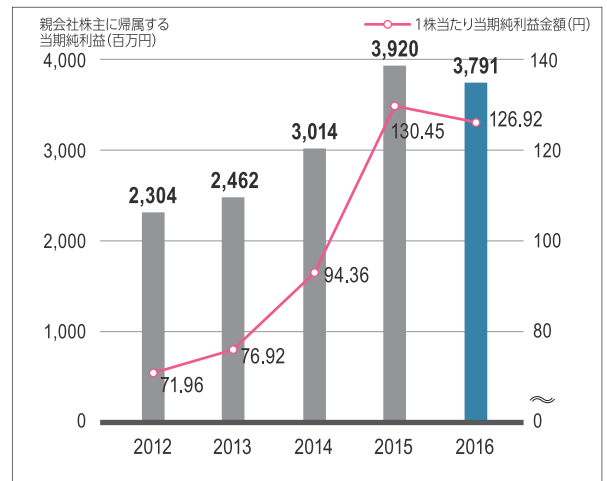
### 営業利益



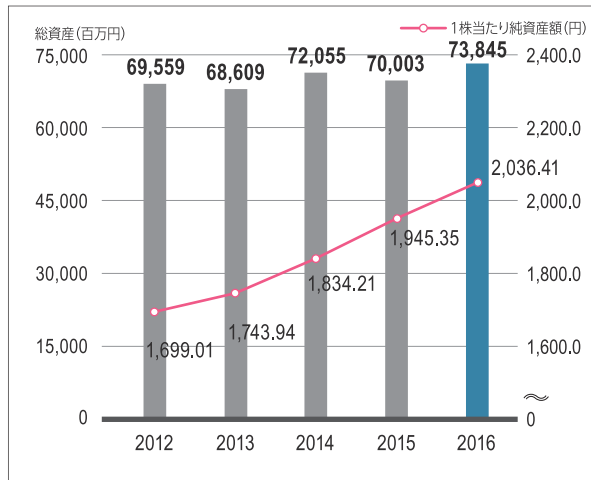
### 経常利益



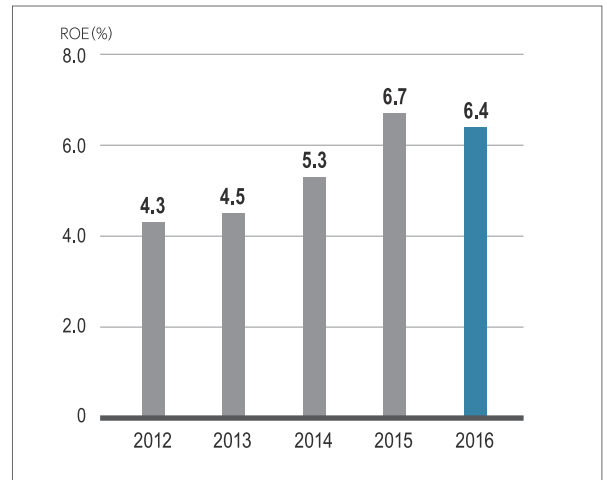
### 親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益金額



### 総資産・1株当たり純資産額

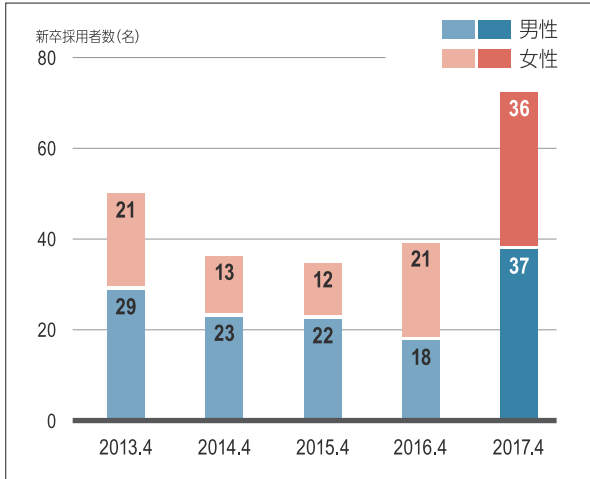


### ROE

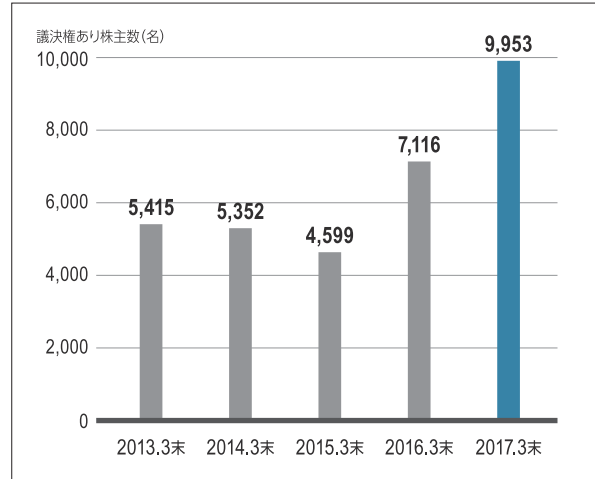


## 非財務

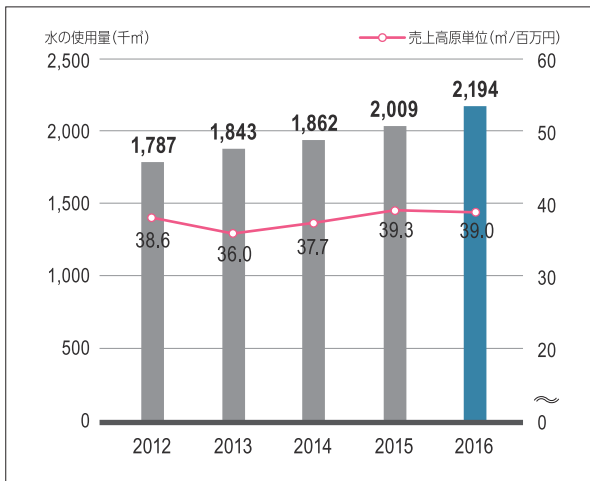
新卒採用者 男女別数



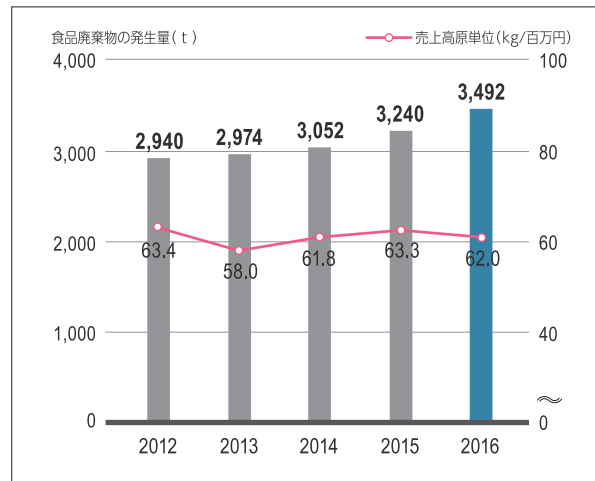
議決権あり株主数



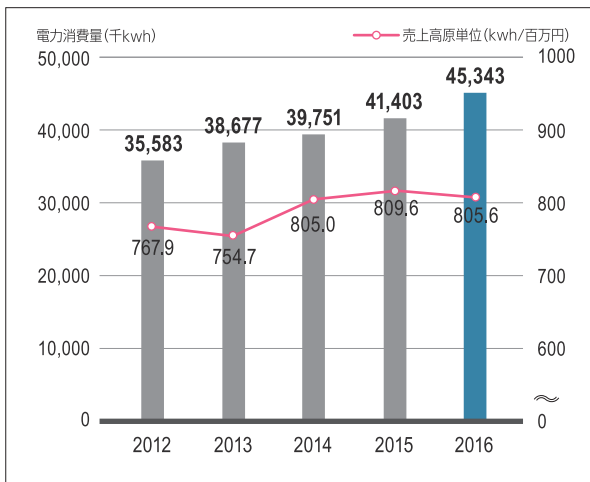
水の使用量・原単位※



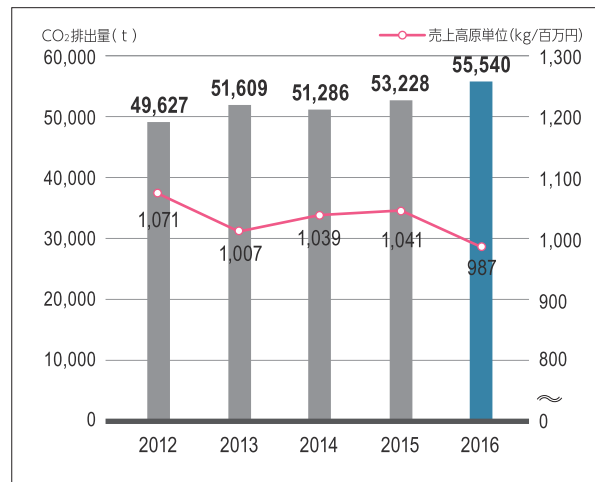
食品廃棄物量・原単位※



電力消費量・原単位※



CO<sub>2</sub>排出量・原単位※



※2016年度より、売上高原単位の算定に用いる売上高の範囲を見直しました。その結果、売上高原単位の諸数値は「フジッコレポート2016」と異なっております。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

# 食よく、バランスよく。

®

「新・日本型食生活」をめざして

フジッコグループについて

会社概要 (2017年3月31日現在)

本 社 所 在 地：〒650-8558 神戸市中央区港島中町6丁目13番地4

創 業：1960年11月7日

資 本 金：65億66百万円

発行済株式数：34,991,521株

議決権あり株主数：9,953名

従業員数(連結)：2,147名

株主総会開催日：2017年6月27日

工 場：兵庫3、埼玉1、千葉1、神奈川1、北海道1、鳥取1

物流センター：兵庫1、埼玉1

営 業 所：全国21拠点

連 結 子 会 社：フジッコワイナリー株式会社

味富士株式会社

〈この冊子に関するお問い合わせ〉

フジッコ株式会社 経営企画部

〒650-8558 神戸市中央区港島中町6丁目13番地4

Tel.078-303-5921

